

曹洞宗海晏山宛陵寺季刊紙

第6号/平成18年

はすのは

平成18年7月8日 発行人 浦辺世紀
発行所 海晏山宛陵寺伝道部 〒859- 松浦市今福町仏坂免95 宛陵寺内
電話；0956-74- FAX；0956-74- e-mail；cent@fine.ocn.ne.jp
環境；PowerMacG4(867) MacOS9.2.2 AppleWorks6.2.8 EPSON LP-S5500



【伝統ある清女会が新たな一歩／5月八日講での清女会総会】

龍水



おしみない心で、
どうぞさしあげます(布施)
やさしい笑顔で、
どうぞしっかりと(愛語)
幸せを祈って、
どうぞおさきに(利行)
手をとって、
どうぞごいっしょに(同事)
私は、今日も菩薩さまの願いに生きます。

これは曹洞宗婦人会の「会員の誓い」として掲げられている言葉である◆修証義第四章の中に示してある「四摂法」という道元禅師の教えで、自らは悟りを得なくとも、この四つを実践できれば、必ずまわりを幸せにできると確信されている。これを「菩提心を発す」と言われている◆ところが簡単なようでもうまくできない。まずは自分が一番という思いが常に頭を持ち上げる◆いつになつたらホトケになれるのやら・・・(世)

◎是非、ご家族の皆さままで、お読み下さい。

先頃、沖縄に赴く縁がありました、出かけて参りました。初めての訪問でたくさんのことを知ることができました。

那覇空港に着陸する際に、旅客機は沖縄本島の西海岸をかなりの距離、低空で飛行しました。窓からは間近にサンゴ礁を眺めることができ、大変感激しました。反面、こんなに低く飛んで大丈夫かな？とも思いました。実はこれは観光サービスではないことが後で解りました。那覇空港は米軍と共用しており、民間機の飛行空域の真上の上空が米軍機の飛行空域になっているからだそうです。

在日米軍の基地の75%が沖縄にあります。基地面積は沖縄本島では島面積の20%が米軍基地。沖縄県に次いで高いのが静岡県でわずか1.2%なんだそうです。そして本土の基地がほとんど国有地（約87%）であるのに対し、沖縄は国有地約33%、県有地約3%、市町村有地約30%、私有地がなんと約33%だそうです。特に基地が



【沖縄平和祈念像（高さ12m）】

集中する沖縄本島中部地域では約76%が私有地だそうです。陸地も空も海も、かなりの面積が基地のために使われていることを知りました。

昭和20年6月23日以来、アメリカに軍事占領され、その後琉球政府時代を経て、施政権が日本に返還されました。返還後も「特措法」と日米地位協定などで、米軍基地は巨大なまま居

座りました。巨大な米軍基地との共存が強いられました。

昭和47年に本土返還されたものの戦争の傷跡が今もお、まったく消えてはいませんでした。

昭和16年12月、日本軍の真珠湾攻撃が始まった、太平洋戦争。当初優勢だった日本軍も昭和19年頃から徐々に劣勢に転じたそうです。昭和20年1月には米軍の沖縄侵攻を察し、沖縄県民の17才から45才までの男子がほとんど召集されたそうです。

昭和20年3月9日東京大空襲、そして3月23日米軍が沖縄本島上陸開始。4月7日沖縄救援に向かったあの戦艦「大和」が徳之島沖で撃沈されました。

7月2日の沖縄侵攻作戦終了までのあいだに、沖縄本島は焼け野原と化したそうです。この沖縄戦での戦没者は、日本側188、136名（このうち軍人は94、136名・県民は94、020名）米軍側12、520名。

そして米軍が使用した爆弾は27766発（当時の県民一人当たり約5発を使用したことになる）だったそうです。その後8月6日に広島、9日に長崎に原爆が投下され、15日に終戦を迎えたのです。

空き時間を利用して「ひめゆりの塔」「旧海軍司令部壕」「平和祈念堂」「平和の礎」などを案内してもらいました。そのどこもが、戦争の罪深さと悲惨さを、後世に確実に伝えるための大切な施設となっていました。

帰りの飛行機、離陸後の低空飛行の窓の下、梅雨空にかすむ島をしっかりと目にとどめて来しました。

▼ 盂 蘭 盆 ！？ ▲
う ら ぼん

8月8日（火）は、「盂蘭盆施餓鬼法要」を修行します。各家庭のご先祖様はもちろんですが、縁の有る無しにとらわれず、「三界の万霊」に思いを寄せる法要です。

盂蘭盆（ウランパーナ）とは「逆さに吊される位の苦しみ」という古いインドの言葉です。

目連尊者が、他界した母の行く末を案じ、釈尊に相談したところ「迷っているのは亡き母でなく、おまえの心だ」と見抜かれました。この迷いの心が（ウランパーナ）なのです。「雨安居（雨期の3ヶ月間、僧が集団で勤める修行）の最終日である旧暦7月15日、亡き母の為に、この僧たちを招き、供養をつとめてみなさい」とアドバイスを受けます。

修行僧たちの姿を見、声を聞いた目連尊者は迷いの苦しみから脱したのです。自らも深く仏道に入りました。それ以来久しく勤められてきた、伝統のある法要です。

ちょうど今年の8月8日は、旧暦7月15日に当ります。長年仏道を行じた僧たちの神通力に託し、先祖・万霊の供養と、自らの迷いを断ち切る法縁であります。どうか万難枉げて、皆さま是非ご参詣下さいませようお願い致します。

10月31日～11月3日の

『大本山総持寺・大本山永平寺の旅』

申込みの〆切は8月20日です。お早めにお申込下さい。資料などはお寺にございます。

「盂蘭盆施餓鬼法要」

8月8日（火）

9時30分から「総回向」

（1時から「初盆回向」）

御布施（二千円）は袋に入れて受付して下さい。セガキ幡を謹呈します。

「戒名授戒式」

（戒名を授かり、真の仏弟子に進む式）

9月22日（土） 10時から

事前の申込が必要です。お尋ね下さい。

「秋彼岸会法要」

9月23日（土） 10時から



夏休み『子ども寺子屋』に参加しませんか？

【保護者様へ】

昨年に引き続き、心の子育てのたすけになればと「子ども寺子屋」を開催いたします。どうかお子様にお勧めいただき、お寺にお預け下さいませようご案内申し上げます。

- ・日にち・ 7月26日(水曜日)
- ・時間・ 午前9時～午後5時頃まで
- ・場所・ 宛 陵 寺 (0956-74-0139)
- ・年 令・ 小学1年生～6年生まで
- ・定 員・ 30名
- ・参加費・ 500円 (食費・保険料・写真代含む) 申込み時に預かります
- ・持参品・ 水筒、汗ふきタオル、筆記用具(ふでばこ)、雑巾1枚
- ・申込み・ 下記申込書を切り取り、お寺に直接申し込んで下さい。
7月20日〆切 (ただし定員になり次第〆切ます)



サックス奏者

津田真友子さん

切り取り線

夏休み『子ども寺子屋』参加申込書

月 日

ふりがな

参加者(子ども)氏名 _____

小学 _____ 年生 男・女

生年月日 _____

⑩ 自宅電話番号 _____

保護者氏名 _____

住 所 _____

※参加費500円を添えてください

9:30～	はじまりの式 (和尚様のお話)	
10:00～	坐 禅	
10:30～	作 仏 (紙粘土で仏さまを作る)	
11:45～	食事のじゅんぴ	
12:00～	昼 食	
	後かたづけ 休けい	
13:00～	記念写真	
13:15～	音楽に親しむ(サックスの生演奏)	
13:50～	自由時間	
14:30～	坐禅と法話	
15:15～	おやつ	
15:40～	思いで作り	
16:20～	かたづけ	
16:40～	おわりの式	
17:00～	解 散 帰 宅	